

戦争怖くてふるえる

19歳、フリーター。音楽とおしゃべりが好きで、政治には関心がなかった。そんな女の子が発起人となって26日、安全保障関連法案に反対するデモが札幌で行われる。呼びかけたのは札幌市中央区の高塚愛鳥さん。「戦争は怖い。イヤだ。許せない。むかつく…。若い世代が自分たちの言葉で反対の声を上げたい」と力を込める。

デモの名は「戦争しなくふるえる」。若者に人気の歌手西野カナさんの曲の「会いたくて震える」という歌詞にかけた。戦争が始まったら自由が奪われる。バカな政治家たちに自由で楽しいあらし達の暮らしを奪われてしまえるか。インターネット上のデモの告知には、自身の写真とともにそんなメッセージを載せた。

「人一倍怖がり、戦争は特に怖い」と話す。幼稚園の時、戦争を扱ったアニメ映画「火垂るの墓」を見て、夜眠れずベッドの中で震えた。高校の修学旅行で訪れた広島では、原爆資料館の展示を直視できなかった。

中学時代、熱心な教師の影響で貧しいアフリカの子供を助ける仕事をしたと夢見た。でも、高校時代は茶髪にピアス、短いスカートで遊んでばかりいた。昨年、半年で大学を中退し、札幌ススキノの飲食店などで働いた。今春、語学留学したフィンランドでは児童養護施設で子供たちと遊ぶボランティアをした。全員の父は娘の顔を見たことがなく、子供のころはよく顔をさすってくれたそのせいか、人と触れ合う仕事をしたいと、今は「車いすの人権活動家」として知られる安積遊歩さん(59)札幌市西区を介助するアルバイトをしている。

19歳フリーター デモ初企画

デモのピラを手にススキノの交差点に立つ高塚愛鳥さん。26日はデモ行進後、ここでマイクを握る(小野弘貴撮影)



26日札幌「若者こそ来てほしい」

戦争は怖い、イヤだと思いつつ、デモでは何も変わらないと思っていた。友達と街を歩いてデモと出くわしてもうるさいと思った。それでも、もし戦争になったら駆り出されるのは自分たちの世代。無関心で遊んでばかりいていいのか。少しずつ考え始めた。

今月中旬、若者が「円山公園」でデモをすると思った。(札幌の)円山なら行くのかなと思ったら、京都の円山だった。その話を安積さんにすると、だったと自分でしたらいいと言われた。「誰かがやんなきゃ誰もしない、何も変わらない。その日のうちに安保法案についてネットで調べ、若い友人たちにデモの企画をネットでぶち上げら

(報道センター 関口裕士)

た。

かすむ
平和
安保法案

戦争しなくふるえる。

戦争とか、マジでイヤじゃん?

2015年6月26日
17時30分 大通西8丁目集合
18時00分 デモ開始